

暗号化通信プロトコル「SSL 3.0」脆弱性の対応について

先般、インターネットで通信内容の保護に使用されている暗号化方式「SSL 3.0」において、暗号化通信が解読される恐れがあるなどの深刻な脆弱性が見つかったと報じられました。

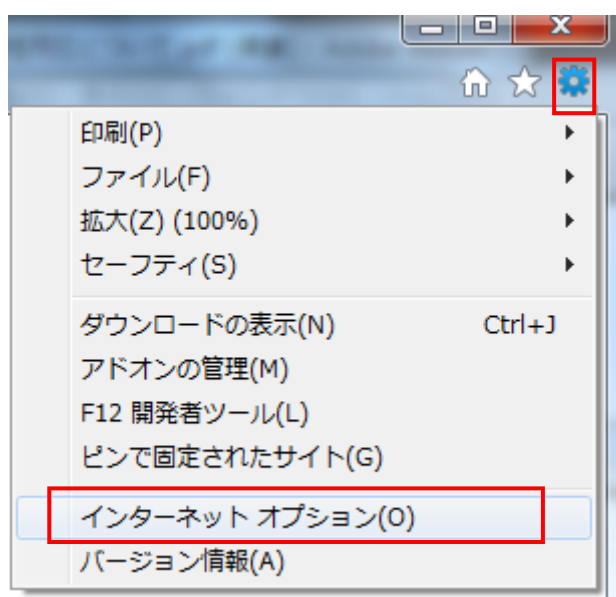
現在、弊社 Web サイトの一部でこの SSL3.0 を使用している為、セキュリティ保護対策として、9月1日より SSL3.0 による通信を無効化し、SSL を基に強化・開発された暗号化方式「TLS」通信に切替させていただきます。

本対策により一部の古い Web ブラウザ(Internet Explorer・Google Chrome など)や通信設定によっては、弊社 Web サイトが閲覧できなくなる可能性があります。

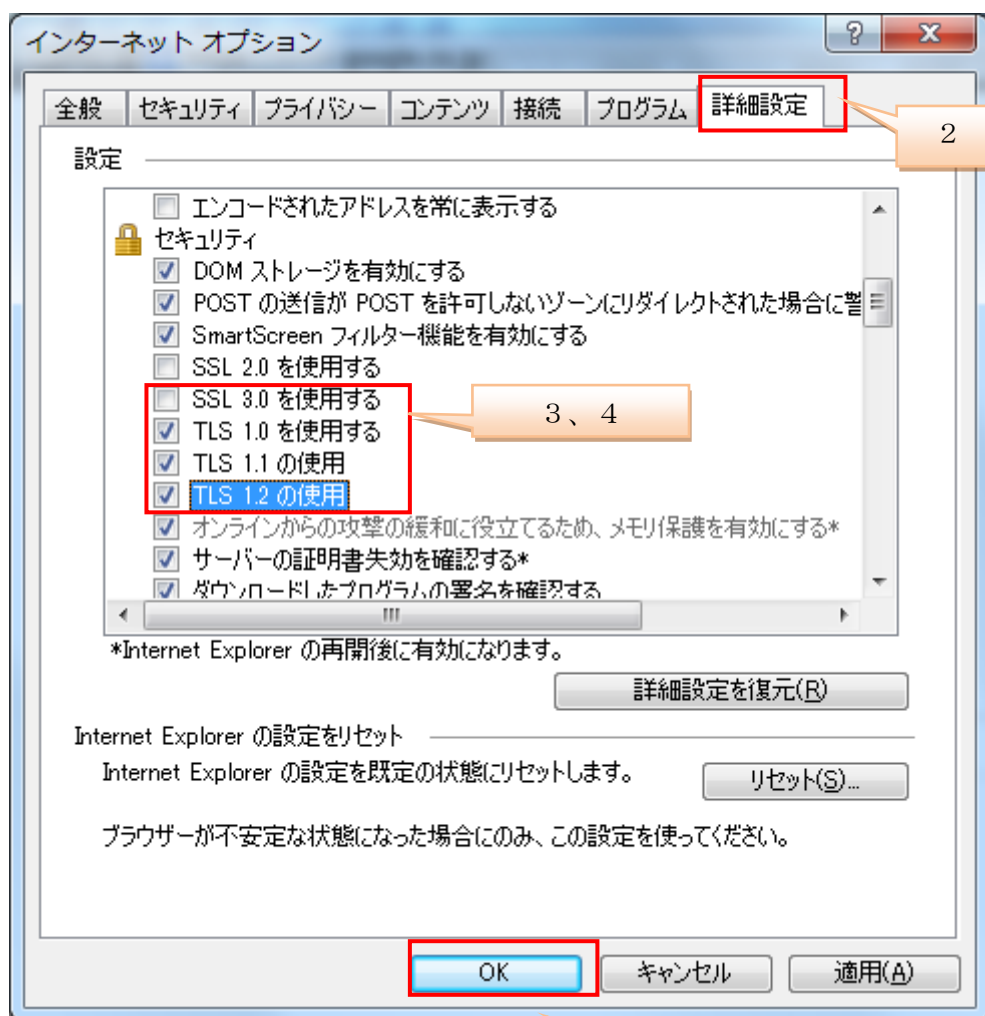
そのような場合には、以下の手順に沿ってお客さまが利用されている Web ブラウザの設定を変更して頂くことで、安全な通信の暗号化 (TLS1.0 以降) を使用して弊社 Web サイトを引き続きご利用頂くことが可能となります。

■Internet Explorer の設定確認と変更手順

1. ウィンドウ上部のメニュー「ツール」から「インターネットオプション」を選択します。
※メニューバーがない場合はウィンドウ右上の歯車マークから (下図)



2. インターネットオプションのダイアログボックス上部の「詳細設定」タブをクリックします。
3. 「セキュリティ」カテゴリにある「SSL3.0 を使用する」のチェックを外します。
4. 「TLS1.0 を使用する」「TLS1.1 の使用」「TLS1.2 の使用」のチェックボックスにチェックが入っていない場合はチェックを入れます。
5. インターネットオプションダイアログの「OK」ボタンをクリックします。



6. Internet Explorer を再起動します。

■ Google Chrome の設定確認と変更手順

1. ウィンドウ右上「三」マークから「設定」を選択します。



2. 「詳細設定を表示」をクリックします。



3. 「ネットワーク」の「プロキシ設定の変更」ボタンをクリックします。



4. Internet Explorer の手順 2 から手順 5 と同様の手順で設定します。

5. Google Chrome を再起動します。

■ 注意事項

SSL3.0 の設定を外した後は、TLS をサポートしない Web サイトに接続できなくなります。また、一部の携帯電話（フィーチャーフォン）からはセキュリティの問題でアクセスできなくなる場合があります。機種ごとの対応詳細につきましては、書く携帯電話事業者へご確認ください。

以上